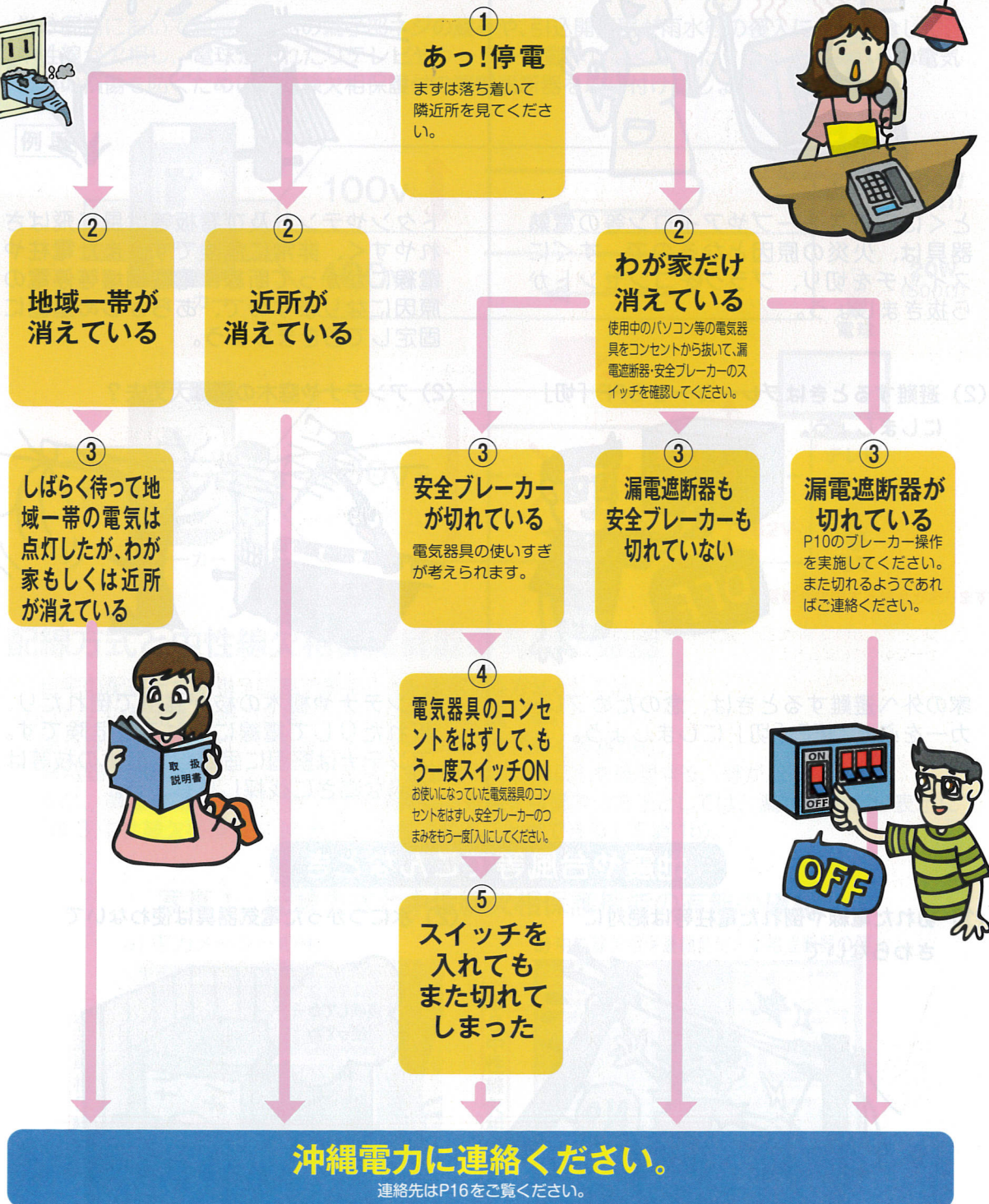


# 突然の停電。そんなときどうしたら・・・!?

停電の原因は電気器具の故障、または漏電遮断器・安全ブレーカーの動作によるものがほとんどです。

突然、電気が消えたときはこの絵の要領で処置してください。



※安全ブレーカー・漏電遮断器については、P5参照

# あっ! 停電だ!

でもどうぞ慌てずに...

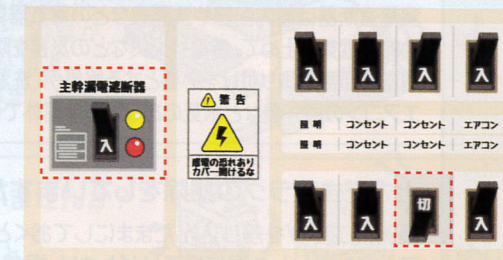


とつぜん、家中の電気が消えた場合、次のような手順でスイッチ類を操作しましょう。

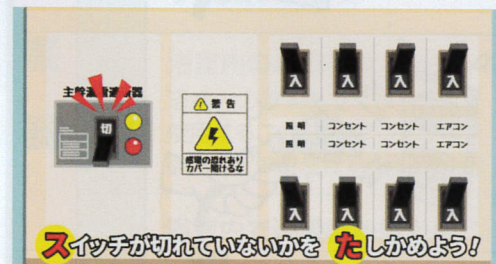
① まずは分電盤にある漏電遮断器や安全ブレーカーを確認しましょう。



⑤ ④の操作後すぐに漏電遮断器が切れたら、その安全ブレーカーを切りそのまま、もう一度漏電遮断器を入りにします。



② スイッチが切れていないか確認しましょう。



※安全ブレーカーを入れた途端に、漏電遮断器が切ればその安全ブレーカーの回路が不良ですからその回路の配線が、電気器具が不良で漏電していることになります。配線の場合は、早急に電気工事に修理の手配をしてください。また器具の故障の場合には、ご使用しないで修理などをなさってください。

③ 漏電遮断器が切れていたら、一度すべての安全ブレーカーを切りにしましょう。



④ 次に漏電遮断器のスイッチを「入」にし、安全ブレーカーを順に一つ一つ「入」にしていきます。

